

# 認知症について

## ～BPSDの考え方と対応について～

### 日時

令和元年9月15日(日)

9:30～12:45(受付開始9:00～)

◆ 研修会場: 社会医学技術学院

### 講師

介護老人保健施設ひもろぎの園

作業療法士 石井利幸先生

(認知症介護指導者)

認知症ケアの困難さは認知症の行動心理症状(BPSD)の有無によって大きく変わってきます。認知症になると誰にでもBPSDが出現するわけではなく、本人やその他多くの要因との絡まり合いの結果として生じることが多いのです。特に、私たち専門職を含めた周囲の人が気づかずに不適切な関わり方をしていることが原因になっていることもあります。

本研修会では、まず認知症の人の中核症状を「記憶障害がある」、「見当識障害がある」というような〇×式ではなく、具体的に評価するポイントをお伝えします。その上で、現実の世界と認知症の人の世界がどのようにズれていくのか、そしてBPSDがなぜ出現するのかを考察していきます。その上で、どうすればBPSDを軽減できるのか、作業療法士が何を提供できるのかを考えていきたいと思えます。

- 参加資格: 「日本作業療法士協会会員」かつ「都道府県作業療法士会 会員」である方
- 参加費: 2000円(基礎研修ポイント、2ポイント対象)
- 申込: <https://forms.gle/pyCjmoJTviNBASG7A> 左記サイトより9月1日まで